

2023年度 社協笠岡支部総会を開催



多賀 一磨 支部長



5月28日(日)に令和5年度笠岡市社会福祉協議会笠岡支部の総会が行われました。総会には、理事・評議員41人が参加し、活動方針と令和4年度決算と令和5年度予算、新役員などが審議され、承認されました。

また、長年の福祉活動への貢献に感謝し、古山欽也さん、大本昌子さん、笠原瑞恵さんの3名の方が表彰され、感謝状が贈呈されました。

総会終了後は、笠岡市地域包括支援センターの笠岡地区担当の福田さん、西江さんを講師に「～認知症を知る～」と題して研修を行い、認知症予防の10ヶ条など学習しました。2025年には認知症患者は700万人、5人に1人が認知症を発症すると予測されています。認知症は、誰でも起こりうる病気。物忘れが増えてきたかな?と思ったときには、早めの病院受診がおススメ...とのことです。

2023年度の笠岡支部 理事のみなさん

地区名	名前
大磯・伏越東	古山 欽也
伏越	上山 久代
宮地	堀 裕美子
浜田	金藤 尚文(会計長) 天野 悠(会計)
仁王堂	中瀬 京子 伊藤 規子
本町	長谷川 靖子 井木 守
住吉	畑 勝子
西の浜	広畑 基 山下 光子
西西	大本 昌子(事務局長) 上田 満子(副支部長) 笠原 瑞恵 和田 振綺
西東	石井 澄恵 太田 弘子
殿南	小寺 保 椋梨 孝章
殿北	前田 秀子 守屋 京子 小寺 保子(監事)
正寿場	藤井 八千代 小寺 をさみ
川南	榎平 一平(副支部長) 藤川 稔
川北上	多賀 一磨(支部長) 長安 久二子 徳光 郁夫
川北中・下	西山 敬子 狩野 恭子(事務局次長) 山本 憲郎(監事)
追分	安田 千穂 原田 治夫



令和5年度第1回サロン部会を開催

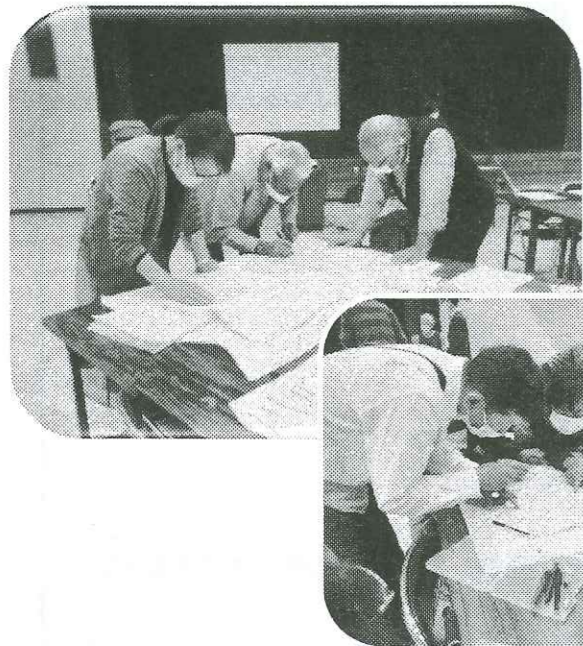
各サロンの取り組みや、今年度の計画について報告しました。各サロンでは、参加される皆さんに楽しんでいただけるよう、工夫を凝らしています。ぜひご参加ください。

ご連絡は、各地区の社協理事までお願いします。

サロン名	10月の予定	時間など	会場など
中央ふれあいサロン	10月25日(水)	13:30~14:30	中央ふれあい会館
井戸サロン	10月20日(金)	10:00~12:00	井戸会館
いきいきサロン殿北	10月18日(水)	13:30~15:00	殿北公会堂
サンサンサロン	10月18日(水)	10:00~14:00	未定
いきいきサロンなかよし会	10月25日(水)	14:00~16:00	浜田集会所
いきいきサロン住吉	10月13日(金)	10:30~11:30	みなとこばなし
いきいきサロン伏越	10月24日(火)	13:30~15:00	伏越会館
上田頭いきいきサロン	10月14日(土)	11:00~15:00	上田頭公会堂
いきいきサロン西の浜	10月11日(水)	10:00~11:30	JA3階 会議室

※月により開催日は異なります。

※通常は下田頭くじば公会堂です。



## 第1回 支部つながる町会議を開催

4月28日(金)、様々な支援が必要な方を把握しようとして、第1回つながる町会議が行われました。地区ごとに民生委員と社協メンバーが情報を共有しながら、高齢者のみの世帯・一人暮らしの高齢者など、住宅地図に点付けをしていきました。平素からの見守りはもちろん、災害時の避難や声掛けなど、今後の活動に役立てることが期待されます。

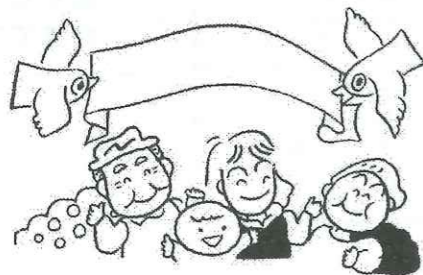
## 子どもたちと楽しく交流

6月25日(日)、キッズサロンを開催。キッズと保護者の方22人が参加しました。じゃんけんや昔懐かしい「だるまさんが転んだ」などで、楽しく遊びました。ぜひご参加ください。お問い合わせは、社協役員まで！



## 土曜夜市で“夜回り”実施

7月15日(土)、青少年育成相談部が土曜夜市で「夜回り」を行いました。すれ違うのも大変な人出でにぎわい、みなさん楽しんでおられました。



知っていますか

## イノチヲツナグ！！ “いのちのボタン”

「いのちのボタン」は、笠岡市全域で実施されている緊急用の情報キットで、119番で救急車を呼んだ時に、敏速な救急救命処置に役立てるものです。



円筒形のプラスチック容器を使うことから、「いのちのボタン」と呼ばれています。容器の中には、高齢者や体の不自由な人たちが日々の安全・安心を確保するため、自分の名前、生年月日などの本人情報、かかりつけの病院や持病などの医療情報、服用薬などの薬剤情報の情報を記入したカードを入れて、冷蔵庫に保管しておきます。また、救急隊が駆けつけた時にもわかるように、玄関のドアの内側、冷蔵庫のドアの外、容器にワッペンを貼っておきます。

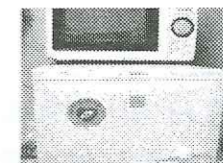
対象者は原則、市内にお住いの75歳以上の高齢者のみのご世帯、体の不自由な方のご世帯等です。本人の同意を得た場合に限り、設置することができます。

ご希望の方は、社協笠岡支部の役員または笠岡市社会福祉協議会にお問い合わせください。(不明の場合は、笠岡市社会福祉協議会までご連絡ください)

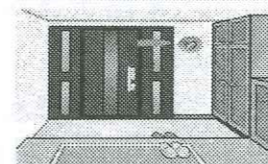
なお、この取り組みは、笠岡地区消防組合とも連携が取れていますので、119番通報で、救急隊が到着した時に迅速に医療情報を伝えることができますので、ご安心ください。

### いのちのボタンの使い方

- ① 本人や家族に同意をもらいます。
  - ② 本人にボタンの資材を渡します。
  - ③ いのちのカードに必要事項を記入します。
  - ④ 筒に③と服薬の説明書等を入れ、筒にステッカーを貼り、冷蔵庫に入れます。
  - ⑤ マグネットのステッカーを冷蔵庫と玄関の内側に貼り、完了です。
- ※いのちのカードは、定期的に更新してください。



### もしもの時の流れ



① 救急隊が玄関内側のステッカーを発見すると



② 冷蔵庫で保管されているいのちのボタンを取り出し



③ ボタンの中の紙を確認し



④ 速やかにしかるべき医療機関への搬送、緊急連絡先への連絡を行う



⑤ 1秒でも早く、その人の命を助ける事が出来る (いのちのボタン)